

8-6 資格・CPD部会

1. 主な活動の記録

(1) 資格・CPD 部会の開催

部会開催回数：10 回

(2) 資格・CPD 部会の組織

資格・CPD 部会は、技術者の能力開発と適正な資格制度の確立を目指しており、RCCM 資格制度委員会と CPD 委員会の 2 委員会構成している。RCCM 資格制度委員会には 2 つの WG に加え、RCCM 資格登録更新講習専門委員会と自主学習システム専門委員会を、また CPD 委員会には CPD 推進専門委員会と CPD 監査専門委員会をそれぞれ設置して活動している。

(3) 委員会の活動

a) RCCM 資格制度委員会

委員会は対面会議+Web 併用で 10 回開催。

① 技術者資格対応 WG

23 の技術者資格の登録更新を行った。また、新たに募集のあった横断型業務「建設情報システム整備・管理」に対して、RCCM（建設情報）を新規登録した。

② 試験検討 WG

国土交通省登録技術者資格の組合せ加点点試行業務について、実態調査等分析し、令和 8 年度建コン協「要望と提案」に反映させた。また、虚偽の事実（職務経歴詐称）に基づく RCCM 資格登録者の対応（処分案及び再発防止策等）を検討するとともに、合格取消や受験禁止期間等に関する RCCM 資格制度施行規程の改正を行った。

② RCCM 資格登録更新講習専門委員会

会長講話 1 つと講師 21 名による講演 22 コンテンツ（うち 16 コンテンツは更新）を公開した。このうち「地球温暖化と世界の水災害」平林 由希子 芝浦工業大学教授を追加し、コンテンツの充実を図った。また、令和 7 年度で退任する講師 1 名の後任を選任した。

③ 自主学習システム専門委員会

更新登録に使用する建設一般 4 教材と専門技術 22 教材の自主学習教材のうち、改訂された 22 教材について、改訂内容適否等の審査、チェックを行った。

b) CPD 委員会

委員会は対面会議+Web 併用で 12 回開催。

建設コンサルタントの資質・能力を主体的かつ継続的に向上する自己研鑽活動の支援と適正な認定のため、前年度から継続して CPD 制度改定について検討し、CPD 単位等改定内容を設定した。併せて CPD システムの改修に向けて、基本設計に着手した。

① CPD 推進専門委員会

協会会員の CPD 取得支援として、分野横断的なテーマである「法律・契約に関するセミナー動画」について継続的な配信を行った。録画配信の開始以降、視聴者数は増加が続いており、CPD 取得機会の創出・拡大に寄与している。

また、CPD 制度改定の検討に併せて、CPD ガイドラインの改定作業を行った。

② CPD 監査専門委員会

令和 6 年度の CPD 登録について監査を実施した。監査は CPD 記録登録者 200 名（記録数 4,967 件）を対象に実施した。監査結果は、削除相当（0.4%）、修正相当（1.1%）と記録の不備はわずかに残るが、指摘は低水準であり、CPD 制度は適切に運用されているものと判断した。

また、CPD 監査結果を踏まえ、不適切な登録申請を削減するため、不適切事例を CPD 情報 HP に公開するとともに、令和 8 年度から運用する CPD 解説書を改訂した。

2. 次年度の活動について

適正な資格制度の充実や自立した技術者の育成支援などの実現に向けて、今年度の活動を拡充・充実し継続実施する。なお、各委員会及び専門委員会の活動詳細は、8-6-1～8-6-6 に示す。

（資格・CPD 部会部会長 原田 政彦）